

# 県内工芸の輸送機産業等に対する製品に関する試験・研究開発

## －研ぎ出し変り塗の製品開発研究（第7報）－

Study on utilization of Aomori craft technology in transportation industry  
 - Developing new Tsugaru-nuri products for use in building interior materials (7<sup>th</sup> Report) -

小松 勇、鳴海 藍、赤田 朝子

本研究の「研ぎ出し変り塗の製品開発研究」では、津軽塗の特性データを取得し、技術普及により県内企業に新市場参入の醸成を図るとともに大手企業への情報提供を行うことで津軽塗の新市場参入を目指している。これまでに、JIS（K 5600）塗料一般試験方法に則った津軽塗の特性データの取得と、これに基づく試作開発について報告した。本報では、特性データをまとめた企業向け資料の作成と、周知活動として開催した県内2カ所での展示会について報告する。

企業向け資料のタイトルは「津軽塗の性能的価値について－残そう伝統工芸－」とし、内容構成は①津軽塗の特徴と歴史、②試験片の作製工程、③塗仕様毎の基本特性、④塗仕様毎の塗膜耐久性（湿潤冷熱繰返し性試験、促進耐光性試験、屋外曝露試験のデータ）とした（図1）。視覚で捉えやすいシンプルかつ正確なデータ提示や文章表現に努め、対象業界の技術系職員に限らず商品開発関係者が読みやすい資料集の作成を目指した。津軽塗の性能的価値を提示する資料として、首都圏の建築や輸送機に関わる6企業に送付し、好反応を得た。次年度は、試作品を伴っての訪問展示を企業に打診する。

建築業や輸送機産業などを対象に、性能結果を踏まえた開発試作品の展示会を青森市と弘前市で開催した（写真1）。来場者のアンケート調査の結果、開発アイテムの訴求を確認できた（図2）。その結果、最も評価高かった「新配色津軽塗タイルのアートパネル」を企業が商品化した。

